

令和元年度 長町持続可能なまちづくり事業 報告書

【事業の背景・目的】

かつて長自治会は約40世帯で構成され、大部分が農業を営み、神社や寺の構成員も同一であったが、新興住宅の進出、新住民の居住等により、これまでの伝統行事、慣習や自治会運営方法等が、現状にそぐわなくなっている。

そこで、各種団体や幅広い年齢層からなる検討委員会を組織し、既存の行事や各種団体のあり方を見直して、新旧住民が共通認識のもと、仲良く暮らし続けられるコミュニティを形成することを目的に本事業を実施する。

【検討委員会(プロジェクトチーム)】

男性	17名
女性	9名
合計	26名

【会議経過】

7月 6日	全体会議	13名	「事業の説明、長町の課題について」
7月20日	伝統行事分科会	8名	「大日如来のお世話と神主について」
8月10日	団体事業分科会	7名	「子供会、地藏盆について」
8月24日	伝統行事分科会	13名	「大日如来のお世話と神主について」
9月14日	団体事業分科会	8名	「婦人会活動について」
9月28日	伝統行事分科会	12名	「大日如来のお世話と神主について」
10月19日	伝統行事分科会	12名	「大日如来のお世話と神主について」
11月16日	団体事業分科会	8名	「婦人会活動について」
11月17日	伝統行事分科会	15名	「大日如来のお世話と神主について」
12月14日	全体会議	12名	「各分科会の報告、今後の進め方について」
1月 5日	自治会総会	73名	「プロジェクトチーム中間報告」
2月22日	全体会議	11名	「最終報告のとりまとめ」

7月	まちづくりアンケート	全戸配布	(別紙参照)
11月10日	団体ヒヤリング	婦人会	13名
12月21日	団体ヒヤリング	守義社	12名
12月28日	団体ヒヤリング	自警団	6名
1月	中間報告に対する意見募集		1件

(予定) 4月19日 自治会総会で報告

【検討結果】

(1) 大日如来と長神社のお世話について

【基本方針】

- ① 大日如来は、先人が土着信仰として営々と継承してきたもので、今後も長町固有の伝統文化として方法を変えてでもお世話を継続する。
- ② 長神社は、宗教・思想を超えた地元長町の鎮守社（氏神さま）として、方法を工夫しながらお世話を継続する。

【継続するための改善案】

- ① 大日如来像の当屋持ち回りは廃止して、長久館に安置してお世話する。
- ② 神主と当屋はこれまでと同様に兼務し、神事と大日如来のお世話を主宰するが、神事の準備や緒行事は協力組織を新設して共同で実施する。
- ③ 神主（当屋）の業務を整理し、簡素化・簡略化により負担軽減を図る。
- ④ 神事等に係る経費を節減し、神主の個人負担を改め、自治会負担とする。

(2) 各種団体の活動・行事について

【基本方針】

- ① 子ども会は、PTAとの関係があるため継続して活動する。
- ② 地蔵盆について、方法は改善・簡略化しながらこれまでどおり3か所の地蔵尊をお守りする。6組は長田地蔵に参加する。
- ③ 婦人会は、主に女性の親睦を図ることを目的とする自治会内の一組織として位置付ける。（活動費も助成する。）
- ④ 自治会活動と墓地管理は分離して考え、婦人会の墓地掃除は廃止する。
- ⑤ 守義社と自警団の構成員が減少しており、今後人員確保に努める。
- ⑥ 入会者が減少しているふれあいクラブについては、クラブで対象者のアンケート調査を実施し、今後のあり方について協議、検討する。
- ⑦ 夏祭りと運動会は、コミュニティ維持のため大切な行事であり、今後も継続して実施する。
- ⑧ 3月の川掃除は廃止する。12月の川掃除はもう少し温かい時期に実施する。

【今後の展開】

- (1) プロジェクトの検討結果を自治会総会で報告して同意を得る。また、検討結果を踏まえて自治会行事の見直しを進めると共に、必要な自治会規約や規程を総会で改正する。
- (2) 大日講と神社行事の改革に具体的に取り組むため、実施団体、活動内容や移行時期等の詳細を検討して実施計画を策定すると共に、円滑に移行を推進するための新たな組織（（仮称）伝統行事改革実行委員会）を設置する。
- (3) 今回のプロジェクトを機会に、今後も自治会の活動や行事について継続的に話し合い、必要な見直しを行っていく。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年 7月6日 (土) 19:00 ~ 21:30		
会議場所	長町公民館	会議種類	全体会議
議 題	持続可能なまちづくり事業について、長町の課題について		
出席者	プロジェクトチーム 13名		

会 議 内 容

1. 開会あいさつ [武田自治会長]
 2. 事業の説明、長町の現況説明 (P Pで黄地PJ事務局長が説明、別紙資料)
 - 川崎：P Jの今後のスケジュールは？
 - 黄地：数回の会議・分科会を開き、年内に中間報告書をまとめて新年総会で報告、住民の意見を聴き、最終案を4月の初総会で報告、必要な規約改正もする。
 3. ワークショップ
 - 2班に分かれ、「長町の良いところ」「長町の問題点」「長町の将来像」についてブレインストーミング。提案された意見は別紙のとおり
 4. 今後の進め方について説明
 - ①伝統行事分科会、団体事業分科会で、それぞれ分科会長を中心に話し合い
 - ②全戸アンケート調査を実施
 - ③必要があればP Tで先進地視察を実施
 以上を事務局長が説明し、同意を得る。
- 次回の分科会日程を決定し閉会
- 伝統事業分科会 7月20日19:30
 - 団体事業分科会 8月10日19:30

持続可能なまちづくり事業ワークショップ(2019.7.6)の意見

テーマ① 「長町のよいところは？」

<p>自然・災害 災害が少ない 自然が多い 環境が良い 田畑・水利 静か 野菜がおいしい 季節感がある</p>	<p>人間性 人間関係が良い 人が良い 住民の仲が良い 気楽に話せる ゴルフ仲間が多い 心が温かい 住民が優しい ギスギスしていない 人と交流しやすい 酒好きが多い 信仰心が篤い</p>	<p>コミュニティ活動 夏祭り 運動会 人が集まる場所 行事が多い 行事がなごやか</p>	<p>活気 子どもが多い 若者が多い 子供に親切 子供がのびのび育つ</p>	<p>暮らしやすさ 安心・安全 難しい規制が少ない</p>	<p>協調性 新興住宅が協力的 新興住宅の参加が多い よそ者扱いが少ない 新興住宅と同じ自治会 団結力がある</p>
---	---	---	--	---------------------------------------	--

テーマ② 「長町の問題点は？」

<p>神社・神主 神主の負担が大 神主行事が複雑 神社の補修必要 大日如来の管理 大日如来の存続 伝統行事のあり方 伝統行事の自治会との線引き 大日さんの順番が早くなる</p>	<p>まつり 祭りの参加が少ない 祭りのあり方 神輿の担ぎ手不足 地蔵盆のやり方 地蔵盆が3か所で困る 6組は地蔵盆に加入する？</p>	<p>団体 ふれあいクラブの今後 婦人会の活動内容改善 婦人会がなぜ墓掃除？ ふれあいクラブの加入者が少 婦人会の加入・あり方？</p>	<p>自治会・役員 役員のなり手がいない 役員の負担が大きい 役員の出役が大変 役員の仕事が多い 役員を何回のさせられる 自治会費が高い 行事が多い 方向性の精選 自治会の改善不足 自治会に保守的な部分</p>	<p>子供 少子化 核家族化 子供の転出</p>	<p>その他 組成のバランスが悪い 農業の存続 ゴミの出し方が悪い 交通が不便 車がないと不便 野良猫が多い 倒れそうなブロック塀の改修 世代の隔たり プライベートに立入り過ぎ 同年代と話す機会が少ない</p>
--	--	--	---	--------------------------------------	---

テーマ③ 「長町の将来像は？」

<p>活気 過疎のない町 若い人が住み続けたい 若い人が多く住む ゆっくり変化 健康なまち 子供の声がる町 子供が多い町</p>	<p>人間関係 老若男女が楽しく住む 笑顔で楽しく 仲のよい町 若い人の意見を聞く 楽しい町 平和で安心なまち 和やかな人間関係 会話のある町</p>	<p>行事 最低限の行事 伝統を残しつつ負担は少ない行事 若い世代が理解できる自治会活動 若い世代が協力する 各種団体活動をしやすく</p>	<p>役員 役員の仕事を少なく 役員の負担が少ないと順に回せる</p>	<p>安心安全 年寄りにやさしい町 高齢者の住みよいまち 安心安全なまち 安全できれいなまち 災害の備えがしっかり</p>	<p>その他 交通が便利 農村集落を継続する 自然がいっぱい あまり都市化しない 公共交通の充実</p>
--	---	--	---	---	--

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年7月20日 (土) 19:30 ~ 21:30		
会議場所	長町公民館	会議種類	伝統行事分科会
議 題	大日如来、神社、神主について		
出席者	プロジェクトメンバー 8名		

会 議 内 容

前回のワークショップで多くの意見が出された大日如来、神社、神主等についてフリーディスカッションをする。

【主な意見】

- ・ 神主=歩き(用務員)という昔の考えを改めなければならない。
- ・ 守義社の体制も昔のように自立的でなくなっていることを考慮しなければならない。
- ・ 昔は大部分の家に神主が回ってくるのが当たり前だったが、現在は違う。
- ・ 当人の役割は、神主が先か？大日さんの世話が先か？歴史がわからない。
- ・ 氏神さんのいない土地はない。宗教ではなく守り神である。
- ・ 宗教行事と堅く考えない。宗教ではなく郷土文化の保護活動である。
- ・ 若い人は婦人会や老人クラブに入らなければならないと思っていない。
- ・ 持ち回りでなく、お堂に安置したら毎日の世話はできないが将来にわたって安定的に保存できる。やり方を変えることを考えなければならない。
- ・ お堂にして寺が参ってくれるだろうか？
- ・ 宮司への謝金、供え物、賄い費等、神主の経済的負担が大きい。神社費を増やして自治会で支出するべきである。
- ・ 托鉢は仏教会の事業なのに神主が集めているのはおかしい。
- ・ 5組の子は守義社にも参加しており、長神社の氏子である。豊満神社は異なる。

等々

次回分科会：8月24日19:30～

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年8月10日 (土) 19:30 ~ 21:00		
会議場所	長町公民館	会議種類	団体事業分科会
議 題	地蔵盆について		
出席者	プロジェクトメンバー 7名		

会 議 内 容

1. アンケート結果の報告
2. 地蔵盆について

新興住宅の6組は、現在入居途中であり、自治会、婦人会、子供会の加入が確定していない。間近に迫った地蔵盆の参加について協議した。

6組住民のアンケート結果（入居者11世帯が回答）

地蔵盆に参加させたい	8世帯
地蔵盆に参加させない	1世帯
わからない	2世帯

- ・アンケートの結果を踏まえ、来年から最も近隣の長田地蔵に参加することを決定。
- ・子供会には参加させたい。
- ・PTA事業には参加する。

次回分科会：9月14日19:30～

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年8月24日 (土) 19:30 ~ 21:30		
会議場所	長町公民館	会議種類	伝統行事分科会
議 題	大日如来のお世話と神主について		
出席者	プロジェクトメンバー 13名		

会 議 内 容

1. アンケート結果の報告(事務局長)

長町に住みよさや愛着を感じている人が7割以上いる。一方で、大日如来さん、長神社・豊満神社の行事、夏祭り・運動会等のあり方が今後の課題とされている。

2. 大日如来の世話についてPJメンバーに神主経験者を加えてフリーディスカッション

【主な意見】

- ・今後3点セットで受けることは困難・不可能、止めることも含め蚊屋鉢帳の意義を考え直す。将来的にはどこかに安置を中心に考える必要がある。基本金の目的でもある。
- ・大日さんと神主の仕事は分ける。神主は自治会で、大日は持ち回りで行う。
- ・公民館か寺等に置き字全体でできる範囲で管理する。若者の意見も聴く。
- ・今後、持ち回りは無理、どこかに安置し、行事は縮小して続ける。
- ・毎日のおぶくさんを供えるのを見直す。
- ・公民館等において、自治会役員+αで管理する。神社の管理は数人で行う。
- ・何とか続ける方法を検討する。
- ・新興住宅の人もどこかに安置したらお参りできるのではないか。
- ・講堂にあった密教仏を長の民間信仰として守り続けてきた長い歴史があるが、公民館で安置するとなると政教分離の問題があるのではないか。
- ・宗教行事と捉えず、民俗文化・伝統文化の継承事業と考えればよいのではないか。
- ・お寺には置けない、住職は神社に置いたらよいと言っていた。
- ・公民館に置くのであれば5・6組の同意も必要である。
- ・蚊屋鉢の意味が分からない。神社行事は神主一人ではなく集団で守るのが良い。

等々

※ 「神社と大日さんの仕事は分ける」「大日さんはどこかに安置する」「神社行事は複数人で管理する」という意見が大勢であった。

次回分科会：9月28日19:30～

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年9月14日 (土) 19:30 ~ 21:30		
会議場所	長町公民館	会議種類	団体事業分科会
議 題	婦人会活動について		
出席者	プロジェクトメンバー 8名		

会 議 内 容

1. 婦人会規約、総会資料、年間行事表、ネットニュース等の資料により現状を共通認識するとともに、今後の活動に意見交換を行った。

- ・ 墓地掃除(+親睦会)と新年会が2大行事、不参料は500円
- ・ 現在会員数は23名
- ・ 墓地掃除の手当てとして願念寺墓地管理委員会から1万円

【主な意見】

- ・ 現状では子ども会の役員選出を婦人会で決めている。未加入者がいるとできない。
- ・ 夏まつりのバザー等も資金集めになっている。
- ・ 農村まるごと事業からも補助金をもらっている。
- ・ 夏まつり、敬老会は正副会長だけが出ているが、手伝いのための役員を増やしてはどうか？
- ・ 婦人会の中で今後の運営方法を話し合って決めていきたい。

11月10日の婦人会親睦会で協議することとする。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年9月28日	(土)	19:30	～	21:30
会議場所	長町公民館	会議種類	伝統行事分科会		
議 題	大日如来のお世話と神主について				
出席者	プロジェクトメンバー 12名				

会 議 内 容

1. PJメンバーに経験者と若者を加えて、DVD「湖東物語（大日さん）」を視聴して行事内容を共通認識する。
2. 1・2回の分科会を振り返り、転入者の増加の問題、家屋持ち回りの限界を踏まえて、伝統行事の継承、公民館への安置等の代替案、蚊屋鉢帳の継続方法等について協議する。

【主な意見】

- ・大日さんは組長が引き受ける。神主の仕事は宮世話がする。
- ・組長では安定的に継続できない。
- ・持ち回りの形を変えるか、どこかに安置する。世話は毎日する必要はない。
- ・長男の結婚順だけではなく、有志も加わって実施する。
- ・蚊屋鉢帳への名簿登録者を増やす必要がある。
- ・新たな運営方法を決めて、参加者を勧誘する。
- ・まずは行事を認知する必要がある。委員会を設置して入会のルールをしっかり決める。
- ・実施方法をもっと簡略化して、神主一人ではなくグループでお守りする。
- ・公民館に安置したら、住民に親近感がわき広く周知することができる。

※次回分科会で、グループ構成のルール作りと簡素化方法の検討を行う。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年10月19日	(土)	19:30	~	21:00
会議場所	長町公民館	会議種類	伝統行事分科会		
議 題	大日如来のお世話と神主について				
出席者	プロジェクトメンバー 13名				

会 議 内 容

1. 前回までの議論で、「大日如来は公民館に安置する」「お世話は神主がする」「作業等はグループで行う」方向となり、グループ化の方法等について議論する。

【主な意見】

- ・神主と大日如来のお世話はセットで考える必要はない。
- ・宮世話が神主を兼ねる。祭りの準備は役員、組長で守義社で行う。
- ・神主は総代が行う。
- ・仕事で参加できないことがある。
- ・蚊屋鉢町は廃止してはどうか。
- ・コミュニティ委員が参画する。又は、メンバーを選挙で選ぶ。
- ・年齢順に決めていく。
- ・現在、神主をすると約40万円の経費が個人負担である。
- ・大日如来の世話と神主は別物にする。

※様々な意見が出たが、今回はまとめるに至らなかった。次回、整理して再度協議する。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年11月16日	(土)	19:30	～	21:30
会議場所	長町公民館	会議種類	団体事業分科会		
議 題	婦人会活動について				
出席者	プロジェクトメンバー 8名				

会 議 内 容

1. 11月10日に開催した婦人会内の話し合い（13名出席）の結果について
 - ・今後墓地掃除はしない。
 - ・不参料は徴収しない。
 - ・親睦会として総会を開催し、今後活動する。
2. 自治会長の方針
 - ・独立した組織ではなく自治会の下部組織として活動してもらう。
 - ・夏まつり、敬老会には協力してもらう。
 - ・自治会からの団体補助金を1000円/人交付する。
3. 今後の具体的な運営方法について話し合う。

【主な意見】

- ・団体規約の変更が必要である。
- ・会員資格をどうするか？年齢は？既婚者か？
- ・自治会内の清掃について、婦人会としての当番箇所はない。
- ・会費はどうか？

※PJで決まった方針をもとに総会（1月19日）で説明する。

（正副自治会長も出席する）

4. 産着貸し出し事業について
 - ・最近の利用者が少ないので廃止してはどうか。
 - ・写真館で一緒に頼む人が増えている。
 - ・若い世帯が事業を知らないので周知する必要がある。
 - ・とても安く借りられるので助かった。
 - ・会長が保管するのが大変である。
 - ・いい互助事業なので、何とか継続してはどうか。

※分科会での婦人会についての検討は今日で終了する。今後自警団との話し合いや夏祭りや運動会等のイベント事業について検討する。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年11月17日	(㊥)日	19:00	～	21:00
会議場所	長町公民館	会議種類	伝統行事分科会		
議 題	大日如来のお世話と神主について				
出席者	プロジェクトメンバー 15名				

会 議 内 容

1. 川崎分科会長が過去4回の協議・検討結果と課題について別紙により次のとおり報告する。

(1) 基本方針

- ①大日如来は長で継承されてきた土着信仰・民俗文化として今後も継続する。
- ②長神社は長の鎮守社（守り神）として今後も継続崇拝する。

(2) 継続のための改善案

- ①大日如来の頭人持ち回りは廃止して、長久館に安置してお世話する。
- ②神事、迎春準備、宮司謝礼・賄い等の経費は、神主負担を止め自治会負担とする。
- ③神主は神事・社守を主催するが、神事や各種行事は協力組織を作って共同で行う。

(3) 未協議の事項 頭人・神主の選出方法、頭人・神主併任or別人、協力者の選出方法

2. 未協議事項について議論する。

【協力組織に関する意見】

- ・年齢順に15名とし、毎年1人交代するという事例がある。
- ・各年代層に分布した選出
- ・各組から選出、5・6組にも参加してもらう方法
- ・神主、氏子総代3名、次期神主+組選抜の10名（有力案）

【その他の主な意見】

- ・蚊屋鉢帳登録をどうするか。次男・三男や転入者にも加入してもらう。
- ・しめ縄、門松を簡略化する。
- ・事業内容の再考も必要である。 → 今後、別途協議していく。

※おおむね方向性が見えてきたので、新年総会で中間報告をして、意見募集する。

※重要な未決定事項 : 頭人・神主を併任するか？別人とするのか？

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和元年12月14日 (土) 19:30 ~ 21:10		
会議場所	長町公民館	会議種類	全体会議
議 題	各分科会の報告と今後の進め方について		
出席者	プロジェクトメンバー 12名		

会 議 内 容

1. 伝統行事分科会 別紙資料により川崎分科会長が報告
 【質疑応答・主な意見】
- ・長町にとっての大改革であり、とりあえず試行的に数年間やって再検討すればよい。
 - ・蚊屋鉢帳を継続することが課題、若者への周知（教育）をする必要がある。
 - ・伝統行事を継続するためには、高齢者の参画がもっと必要である。
 - ・神社の作業を減らすため、境内の落葉樹を伐採してはどうか。
 - ・政教分離の考えもあるが、長町固有の文化遺産として継承していけばよい。

2. 団体行事分科会 次のとおり平居分科会長が報告
- ①子供会はPTA豚関係がありこれまで通り継続、地蔵盆は6組は長田地蔵に参加する。
 - ②婦人会は自治会の1組織と位置付け、活動費も補助する。墓地掃除は廃止する。
産着貸出制度は継続する。名称変更も含め規約改正を行う。
 - ③自警団、ふれあいクラブについては今後検討する。
(特に意見なし)

3. コミュニティ事業（運動会・夏祭り）を検討課題にするかの可否について
 【質疑応答・主な意見】
- ・委員の負担よりもコミュニティ維持にとって大事な事業であり継続すべきである。
 - ・夏祭りの時期を変えてはどうか。
 - ・夏祭りと運動会を隔年実施にしてはどうか。
- (これまでどおり両事業を継続することに決定)

※新年総会においてPJの検討結果資料を付け基本方針を報告し、一定期間意見募集を行う。
 詳細については次年度以降、時間をかけて検討する。
 性急に実施しない。今後の実施方法に賛同を得て周知期間を置いたのちに実施する。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和2年1月5日	(日)	13:00	～	15:00
会議場所	長町公民館	会議種類	自治会総会		
議 題	長町持続可能なまちづくり事業中間報告について				
出席者	74名出席（内委任状1名、自治会員数86名中）				

会 議 内 容

（自治会新年総会議事録から、当事業個所を抜粋）

1. 大日如来行事のDVD鑑賞

2. 事業経過報告、アンケート結果報告（黄地副自治会長）

---別添中間報告書参照---

3. 検討結果の報告

（1）伝統行事について（川崎分科会長）

（2）団体事業について（平居分科会長）

- ・ 本日の報告（基本方針）について同意いただければ、詳細については、今後委員会・自治会役員で検討を進める。
- ・ 質疑、意見は特になし
- ・ 意見、提案がある場合は、1月31日まで募集する。

長町持続可能なまちづくり事業 会議録

日 時	令和2年2月22日	(土)	19:30	～	21:30
会議場所	長町公民館	会議種類	全体会議		
議 題	今年度事業のまとめ				
出席者	プロジェクトメンバー 11名				

会 議 内 容

1. 経過報告と今後の取り組み方について提案（黄地事務局長）

- (1) 意見募集については1件有り、本日検討する。
- (2) 今後の進め方について、①初総会で最終報告・同意 ②必要な規約・規程の改正
③（仮称）伝統行事改革実行委員会の設置 了承される。

2. ふれあいクラブについて

- ・近年入会者が少なく活動の継続、役員不足が課題となっている。
- ・クラブの目的・趣旨が不明確、活動内容に魅力がない。
- ・平均寿命の延伸に伴い、現役年齢も伸びている。年齢差も開いて価値観が異なる。
- ・年齢による団体ではなく、同好の志が集まるグループ活動にニーズが変化している。

[結論] 対象者の意見を聞く場を設ける。アンケート調査を実施する。

自治会役員が介入するのではなくクラブで解決方策を検討する。

3. その他自由討論

- ・近年、川のごみが少なくなってきたので、川掃除を1回減らし年1回とする。
- ・子どもの少ない地区では地蔵盆開催が困難、1か所にまとめては。
→ 規模縮小ややり方を変えて、各地蔵さんをお守りしていく。
- ・今後も5年毎ぐらいで、団体や行事について継続的に話し合い、見直しをしていく。

終了